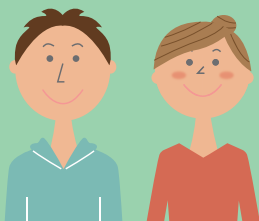




将来のキャリア形成などについて  
真剣に考えていると感じる!

自分がやりたいことに  
どんどん挑戦しようと  
思えるようになりました!

自身の将来を考える  
絶好の機会でした!



自ら進んで質問をする姿が  
目立ちました!



2025 年度

# 現場体験型

# しごとと研究(実習)

— 主に学部1・2年生が履修する正課授業(2単位) 夏季就業体験 —



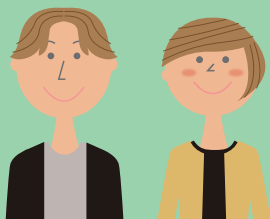
周りの方々への感謝の気持ちを忘れない  
素晴らしい学生さんでした。

「はたらく」ということを  
実感できました!



業界を目指したい気持ちが  
より強くなりました!

短い期間でしたが、  
双方有意義な実習だったと感じました。



「現場体験型インターンシップ」は2024年4月1日から  
名称を「現場体験型しごとと研究(実習)」に変更しました。

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

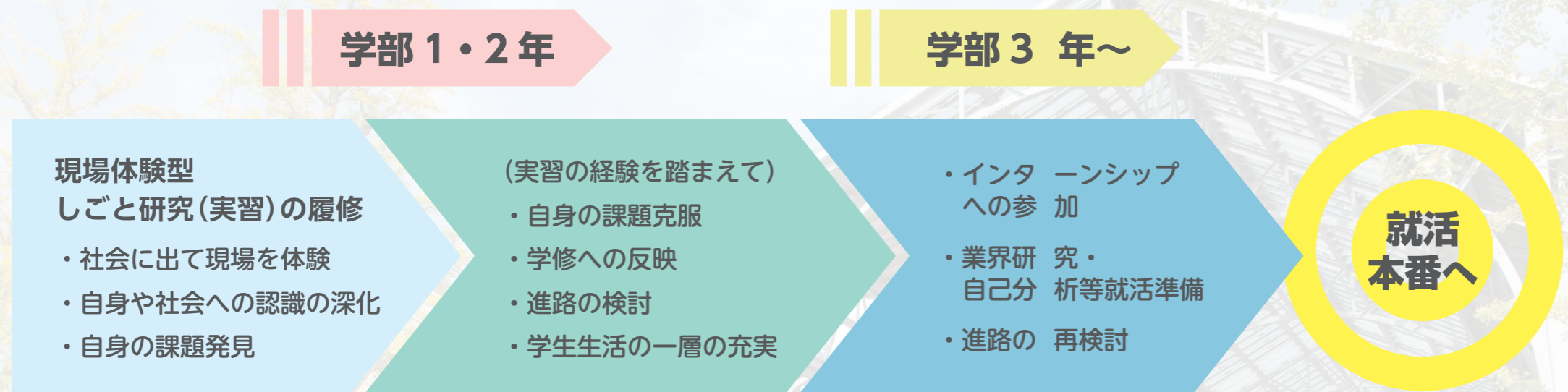
東京都立大学

# 1・2年生の学生たちが踏み出す、社会への第一歩にご協力ください。

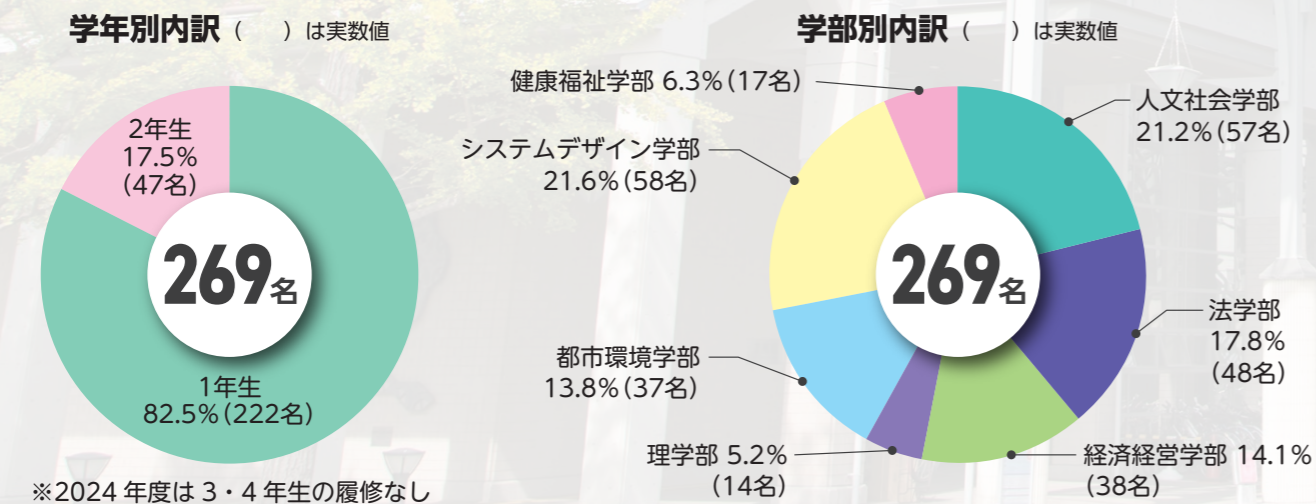
「現場体験型しごと研究(実習)」は、本学の開学時から実施している、全学部生が対象となる正課授業のキャリア教育科目(2単位)であり、履修学生の9割以上が学部1・2年生で構成されている点が特徴です。

学生は、自身の興味・関心のある実習先での現場体験を通じて、大学生活の早い時期に問題意識を醸成し、課題に主体的に取り組む能力、対人関係に必要な基礎的能力等を自ら養成することをめざします。

## 履修学生の就活へのステップ



## 履修学生の内訳〔2024年度実績〕



## 当プログラムの取扱い

「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(3省合意)が改正され、令和5年度から大学生等のキャリア形成支援に係る取組が以下の4つに類型化されました。

- 「インターンシップ」とは称さない
  - ・タイプ1 オープン・カンパニー
  - ・タイプ2 キャリア教育
  - ※年次不問
  - ※取得した学生情報の採用活動への活用は不可
- 「インターンシップ」と称して実施
  - ・タイプ3 汎用的能力・専門活用型インターンシップ
  - ※3年生以上
  - ※採用活動開始後、取得した学生情報の採用活動への活用が可能
  - ・タイプ4 高度専門型インターンシップ(試行)

※当プログラムは学部1・2年生が履修対象となるため、**タイプ2**に該当します。

## 東京都立大学について

東京都立大学は、東京都が設置する唯一の総合大学として、本学の特長を活かした教育を実施することにより、社会の変容に応じて活躍できる人材を輩出するとともに、多彩な基礎研究や応用研究、大都市課題研究を推進することで、東京都の発展に貢献し、ひいては世界の未来を拓いていきます。

## 学部・学科

人文社会学部	人間社会学科
	人文学科
法学部	法学科
経済経営学部	経済経営学科
理学部	数理科学科
	物理学科
	化学科
	生命科学科
都市環境学部	地理環境学科
	都市基盤環境学科
	建築学科
	環境応用化学科
	観光科学科
	都市政策科学科
システムデザイン学部	情報科学科
	電気電子工学科
	機械システム工学科
	航空宇宙システム工学科
	インダストリアルアート学科
健康福祉学部	看護学科
	理学療法学科
	作業療法学科
	放射線学科



現場体験型しごとと研究 (実習)

# プログラム内容

1月~3月

●学生受入れ・実習内容調査書作成依頼 (大学→実習先様)

●実習内容調査書のご提出 (実習先様→大学)

4月

●第1回事前学習 (大学・学生)  
現場体験型しごとと研究 (実習) の意義と目的、事前調査課題の作成方法など第2回事前学習につなげるための講義を行います。

●履修申請 (学生)

5月

●学生の選考・決定 (大学)  
学生が提出した実習先希望調査票を基に学生の実習先を決定します。

6月

●第2回事前学習 (大学・学生)  
事前調査課題 (実習先に関して調べたこと) について、内容を確認し、実習先に対する理解と実習の目標設定に関するグループワークを行います。

●第3回事前学習 (大学・学生)  
社会人マナーや成果報告書の作成方法について講義を行います。

●実習学生情報の送付 (大学→実習先様)  
学生が提出した実習生票等の学生情報及び事前課題を電子データにてお送りします。

7月

●ビジネスマナー講座 (大学・学生)  
第3回事前学習で学んだ内容の実践と反復練習によりマナー等の理解を深めます。(受講任意)

●実習計画書のご提出 (実習先様→大学)  
実習期間・実習内容等が記入された実習計画書をご提出いただきます。お送りいただいた実習計画書は大学から実習学生へ配付いたします。

8月~9月

●現場実習 (5~10日間) (実習先様・学生)  
夏季休業期間中の現場実習を通して、社会や自身の課題への認識を深めます。

●成果報告書の作成 (学生)  
学生が5~10日間の実習期間を通じて得た経験を基に、今後の「大学生活の充実とキャリア形成」にどのように活かしていくかという視点で、1200~1600字程度で成果報告書を作成します。

10月

●成績公表 (大学→学生)  
実習先様に作成いただいた所見票及び学生が提出した成果報告書等を基に成績判定を行います。



## 履修学生の声

2024年度 アンケートより

様々な医療職の見学とチーム医療についての学びという二つの目的を両方とも果たすことができました。実習を行う前は、ここまで間近で医療現場を見せていただけたとは思っていなかったのが、本当に貴重な経験をたくさんさせていただきました。

地方独立行政法人東京都立病院機構 健康福祉学部 1年

私の実習先では、多くの高専4年生(世代としては同期)がインターンとして参加していました。大学1年生で「先取り」のつもりで実習に臨んでいましたが、就職を控えた実習生と同じ対応をしていただくことで、自分が既に社会人になりうる年齢・世代であることを実感し、自分の進路に関して考えを改めるきっかけになりました。

極東興和株式会社 都市環境学部 1年

通勤から退勤の時間も含めて、社会に出るとはこういうことだということを実感できました。実際に働いている様子を見て、体験したことでの厳しさだけでなく、達成感・やりがいを感じました。

株式会社パフ 人文社会学部 2年

「働き方」は非常に多様であること、自分は人とたくさん関わることができる業種が向いているのではないかと気づくことができました。

株式会社パナソニックグループ 法学部 1年

実際に3日間営業へ同行させていただき、「働く」ということへの理解が深まりました。また、多くのグループディスカッションやパワーポイント発表を通じて、人前での発表に抵抗がなくなりました。

株式会社内田洋行 システムデザイン学部 1年



# 実習レポート

※履修学生の所属学部・学科は履修当時のものです。



首都東京の建設事業の最前線である事務所で、関係住民や利害関係者との密な連携の下で事業が進められている現場を体験！

**実習先** 東京都建設局 第三建設事務所

首都東京の現状と課題とを認識できると考え、新宿区、中野区、杉並区の三区を所管する第三建設事務所を選びました。実習では、担当の方が丁寧に指導をしてくださり、事務所の所管事業の概要や、それらの遂行にあたり、東京都が他の行政機関、現地の商店街・民間団体等と密に連携しながら、現場の実情や需要に即した対応を実施しているという現状への理解を得ることができました。本授業を通じて得た知識や物事を注意深く多面的な視野で観察する重要性への認識を、今後の日常生活をはじめ、授業選択や、土木関係のインターンへの参加の際に活かしたいと考えています。【都市環境学部 都市基盤環境学科 1年】

1日目	所管事業に関する講義、現地視察（補助第227号線、放射第25号線）
2日目	現地視察（新宿駅周辺、中央通り、都道4号線）
3日目	現地視察（補助第74号線（山手線立体））
4日目	現地視察（善福寺川取水施設、環状七号線地下広域調節池連結工事）
5日目	現地視察（副3号補修工事、副10号自転車通行区間・高架橋長寿命化工事等）

現場に赴いてこそできる、大変貴重な体験をさせていただきました

**実習先** 東京信用保証協会

以前から関心のある金融業界の雰囲気をつかむということを目指して参加していましたが、実際に参加してみて、事前学習と現場とのギャップに驚きました。事前学習では中小企業白書を読み、景況は持ち直しの動きがみられるということを知っていましたが、実際は二極化しており、コロナ禍終息後経営が悪化している企業もあるという話を伺いました。その後、経営支援業務として取引先の企業訪問に同行し一緒にお話を聞くことで、厳しい経営の実態を実感することができました。現場に赴いてこそできる、大変貴重な体験だったと思います。受け身の姿勢では得られない情報があることに気づくことができ、今後の学習に活かしていきたいと思いました。【理学部 数理科学科 1年】

1日目	業務内容についての講義・業務端末操作方法の習得
2日目	業務端末操作方法の習得・受付業務体験
3日目	取引先への訪問・保証審査についての講義
4日目	セミナーの運営及びオブザーバー参加
5日目	取引先への訪問・実習の振り返り



グループでアプリを開発する体験を通して、コミュニケーションスキルの重要性を学びました

**実習先** 株式会社キューブシステム 人事部

仮定の要望をもとにアプリを開発し、最終日に顧客に提案するというグループワークを行いました。SEの仕事は個人作業が多いと考えていましたが、実習を通して、むしろチームワークが重要だと気づきました。より良いアプリを開発するにはお互いのアイデアについての意見交換が必要で、話し合いをスムーズに雰囲気良く進行していくには、対人関係の構築が不可欠です。もちろんプログラミング言語の知識も必要ですが、それ以上にコミュニケーションスキルが重要であると感じ、現場に赴いて実際に体験することがいかに有意義かを痛感しました。今後大学での学修を通じてこのようなスキルを磨いていきたいです。【システムデザイン学部 電子情報システム工学科 1年】

1日目	オリエンテーション・システム開発体験・自己分析ワーク
2日目	顧客課題ヒアリング・課題分析・企画立案・顧客提案
3日目	設計書作成・スケジュール立案・アプリ開発
4日目	アプリ開発・成果報告資料作成等
5日目	成果報告会



当プログラムに履修登録した学生たちは、まず自身の学部・学科や将来の進路との接点、あるいは「営業」「接客」「企画」「フィールドワーク」「オフィスワーク」「チームビルディング」「研究」「クリエイティブ」といった実習の特徴を示すキーワードを基にエントリーする実習先を選択。その後、学内選考により決定した実習先の調査を行い、貴重な経験の場となる夏季実習に臨みます。



現場実習を通して、社会に出て「働く」ことのやりがいの大きさを感じました

**実習先** 新三平建設株式会社 工事部

実習を通して一番学べたことは、社会に出て働くということの大変さとやりがいの大きさです。何もない土地から一つの建物を建てるには多くの時間と労力が必要ですが、だからこそ完成した時には、とても大きなやりがいと感動が得られることを学びました。また、建設業界の就業者数は減少傾向にあり、女性の割合も低いという現状を改善する取り組みがなされていることを学びました。現場実習では、座学よりも実際に自分の目で見た経験を通して勉強するほうがより深い学習につながり、理解度も格段にあがると感じました。これから大学で勉強することを先取りでき、この先の建築の勉強がとても楽しみになりました。【都市環境学部 建築学科 1年】

1日目	業界動向・建設業のSDGsビジネス・意匠設計業務について
2日目	建設施工管理 現場実習（新築）
3日目	建設施工管理 現場実習（新築）
4日目	建設施工管理 現場実習（リノベーション）
5日目	運営・社会貢献活動について・実習の振り返り

実習  
ご担当者様からの  
コメント

建築に対する関心が高く、現場でもかなり深掘りした質問をされていました。今回の経験が今後の専門科目履修や将来を考えるうえで役に立てば当社としても嬉しい限りです。



将来のキャリア形成を早い時期から考える良い機会になりました

**実習先** 公益財団法人 東京観光財団 地域振興部事業課

都市の再開発や観光による街づくりに関わる職業に関心があり、実習先を選びました。現地同行や担当の方との話し合いを通して様々な取り組みを学び、自身のやりたいことが何なのかを改めて考える機会になりました。市の観光協議会に同席した際には、立場の異なる関係者が意見を調整し合う過程を目の当たりにし、限られた時間と予算の中で事業を進めることの困難さを実感しました。実習前は専門的な知識がないと不利だと考えていましたが、むしろ新鮮な考え方を望んでおり、それが良い刺激になったとフィードバックをいただきました。早い時期から将来について考える良い機会になったと感じています。【人文社会学部 人間社会学科 2年】

1日目	島しょと奥多摩についての説明
2日目	八王子協議会への同席
3日目	観光まちづくり支援事業についての説明
4日目	奥多摩町観光発信事業の同行
5日目	オーバーツーリズム、インパウンドに関する話し合い
6日目	観光まちづくり支援事業の事例集め
7日目	竹芝客船ターミナル見学 ほか
8日目	成果発表資料準備 ほか
9日目	成果発表会 地域発掘プログラム事業の会議に参加 ほか
10日目	学生向けの旅行プランコンテスト資料作成 ほか

実習  
ご担当者様からの  
コメント

事前に東京の観光のことをよく調べ、理解したうえで来ていただきました。物怖じせずご自身の意見を発表しており、我々にとっても良い刺激となりました。



現場体験型しごと研究 (実習)

# 実習受入先

(2024年度に学生の受入れ枠をご提供いただいた受入先)



● **東京都 (10 実習先・40 コース・定員 82 名)**

総務局、主税局、都市整備局、環境局、福祉局、建設局、交通局、水道局、下水道局、教育庁 (特別支援学校)

● **特別区 (11 実習先・22 コース・定員 37 名)**

港区、新宿区、台東区、(公財)江東区文化コミュニティ財団、品川区、目黒区、(社福)目黒区社会福祉事業団、北区、荒川区、板橋区、江戸川区

● **市 (13 実習先・29 コース・定員 75 名)**

武蔵野市、三鷹市、青梅市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、日野市、国分寺市、国立市、多摩市、羽村市、あきる野市

● **東京都の関係団体 (17 実習先・37 コース・定員 70 名)**

(公財)東京都人権啓発センター、(公財)東京税務協会、(公財)東京都歴史文化財団、(公財)東京都交響楽団、(公財)東京都スポーツ文化事業団、東京都住宅供給公社 (JKK 東京)、(地独)東京都立病院機構、(公財)東京都福祉保健財団、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、(公財)東京しごと財団、(公財)東京都農林水産振興財団、(公財)東京観光財団、(公財)東京動物園協会、(公財)東京都公園協会、(公財)東京都道路整備保全公社、(公財)東京防災救急協会

● **企業・その他法人 (68 実習先・77 コース・定員 239 名)**

(株)ウチダシステムズ、(株)ウオリティ・オブ・ライフ、(株)サカイ引越センター、(株)ジェイ・プロード、(株)四季リゾート、(株)セレスポ、(株)タウンニュース社、東京港埠頭(株)、(株)東京サマーランド、東京都競馬(株)、(一財)日本ユースホステル協会、(株)パソナグループ、(株)パフ、ぴあ(株)、(株)毎日コムネット、(株)MAKERS、リゾートトラスト(株)、(株)シモジマ、タキヒヨー(株)、(株)アビリカ、(株)イシダ、(株)内田洋行、(株)オカムラ、(株)カネコ、京セラ(株)、プレス工業(株)、ヨシモトポール(株)、リオン(株)、(株)オムテック、極東興和(株)、栗本建設工業(株)、(株)サンケータイムリー、新三平建設(株)、大末建設(株)、高松建設(株)、(株)日本構造橋梁研究所、ファーストコーポレーション(株)、メトロ設計(株)、(株)リンク・トラスト、東京信用保証協会、東京水道(株)、アールシーソリューション(株)、(株)キュービック、(株)キューブシステム、(株)クレッシェンド、JTP (株)、セコムトラストシステムズ(株)、(株)ソアシステム、東京コンピュータサービス(株)、ナビオコンピュータ(株)、(株)日本トータル・システム、(株)ニッセイコム、(株)ベオスアイティーホールディングス、(株)マン・マシンインターフェース、(株)モーデック、(社福)シルヴァーウィング、東電ハミングワーク(株)、(一社)ぱうず、(一社)フードバンク八王子、PT 有限会社リハビリ道場、(特非)エヌピーオー・フュージョン長池、(特非)国際自然大学校、(特非)東京コミュニティスクール、(特非)放課後 NPO アフタースクール、(一社)まちやま、(特非)留学協会、(株)日刊工業新聞社、(一社)日本新聞協会

当プログラムの履修学生をお受けいただくことで、次世代の人材育成・キャリア観醸成へのご貢献となることはもちろん、学生からの認知度・魅力理解向上にも寄与するものと考えています。実際に、ご協力いただいた多くの受入先の皆様からも受け入れてよかった！というフィードバックをいただいております。ぜひ東京都立大学の正課授業「現場体験型しごと研究 (実習)」にご協力を賜りますようお願いいたします。

## 実習先様の声 (2024 年度アンケートより)

**東京都建設局 道路建設部**

想像していたよりも事前に勉強してきたことに驚きました。今回のように1,2年生から体験すると、その後の大学生活に多大な影響があると思います。なるべく若いうちに仕事の現場を体験する方が良いと思います。

**調布市 東部児童館**

「子どもと接する時にどんな視点を大切にすれば良いのか」「児童館を運営する中で今、課題に感じていることは何か」など積極的に質問をしてくれ、また子ども達にも優しく対応してくれていました。大変好感の持てる姿勢であったと思います。

**地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立墨東病院**

当院としても、学生に何を知ってほしいか、何を体験してほしいかを改めて考える貴重な機会となりました。

**地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター**

真面目に取り組んでいただきました。学生視点でのコメントを多くいただくことができ、こちらも刺激を受ける良い機会となりました。

**株式会社 ウチダシステムズ**

参加学生唯一の一年生なのでとまどうことも多かったと思いますが、周囲から吸収しようという意欲が高く、営業同行社員や周りの学生の発言をどんどん吸収していきましました。とてもよい取組姿勢でした。

**株式会社 タウンニュース社**

弊社の仕事に意欲的に取り組んでいただいた。受け入れる側としてもやりがいを感じながら取り組むことができました。

**ヨシモトポール 株式会社**

大変意欲的にご参加いただきましたので、私共も色々な説明をして教えてあげたいなと思わせてくれる魅力的な方でした。体力的に大変なところもあったかと思いますが、全く疲れた様子を見せず、終始明るく楽しみながら学んでくださいました。

## 1 学生の受入れについて

受入時期	本学夏季休業期間 [予定]2025年8月12日(火)～9月12日(金)
対象学年	低学年を対象としたプログラムのため、履修学生のほとんどが1・2年生となります。
実習日数・時間数	5～10日間（連続する日程でなくても可能です。） 土・日・祝日の受入れも可能です。 受入時間は、合計40時間以上（1日あたり5～8時間）となるようご調整をお願いします。
場 所	原則、東京都内、またはその近郊となるようご配慮ください。
報酬・日当	不要です。
交通費・食事代	原則、学生の自己負担となります。
保 険	受入期間中（通勤及び実習中）に発生した事故等に備え、全ての学生に「傷害保険」及び「賠償責任保険」への加入を義務付けています。

## 2 学生の受入れに際しての依頼事項

学生の受入れに際しまして、以下の事項にご協力いただきますようお願いいたします。

事前申告せ	受入学生数や実習内容等について、事前（1～7月）に申告せをさせていただきます。詳細は、次ページ「実施フロー」をご確認ください。
協定書(覚書)の締結	原則として受入学生決定後、協定書(覚書)を締結いたします。なお、受入先様で指定の様式がある場合には本学指定の協定書と合わせて2種の締結をお願いいたします。
実習所見票の提出	実習終了後（8月下旬～9月中旬）、学生に関する所見票のご提出をお願いいたします。
学生情報の削除	当プログラムはキャリア形成支援に係る取組のタイプ2に該当するため、受入学生の個人情報を就職活動に利用することは不可となります。詳細はP.2「当プログラムの取扱い」をご確認ください。

## 3 受入学生の決定について

1. 本学へご提出いただく「実習内容調査書」に基づき、学生を募集します。
2. 本学にて学生を選考のうえ、6月下旬頃にご報告いたします。

※受入学生の学年、所属学部、専門分野等の指定を希望される場合は、実習内容調査書にご記入ください。ただし、性別や国籍等での指定はご遠慮いただきますようお願いいたします。

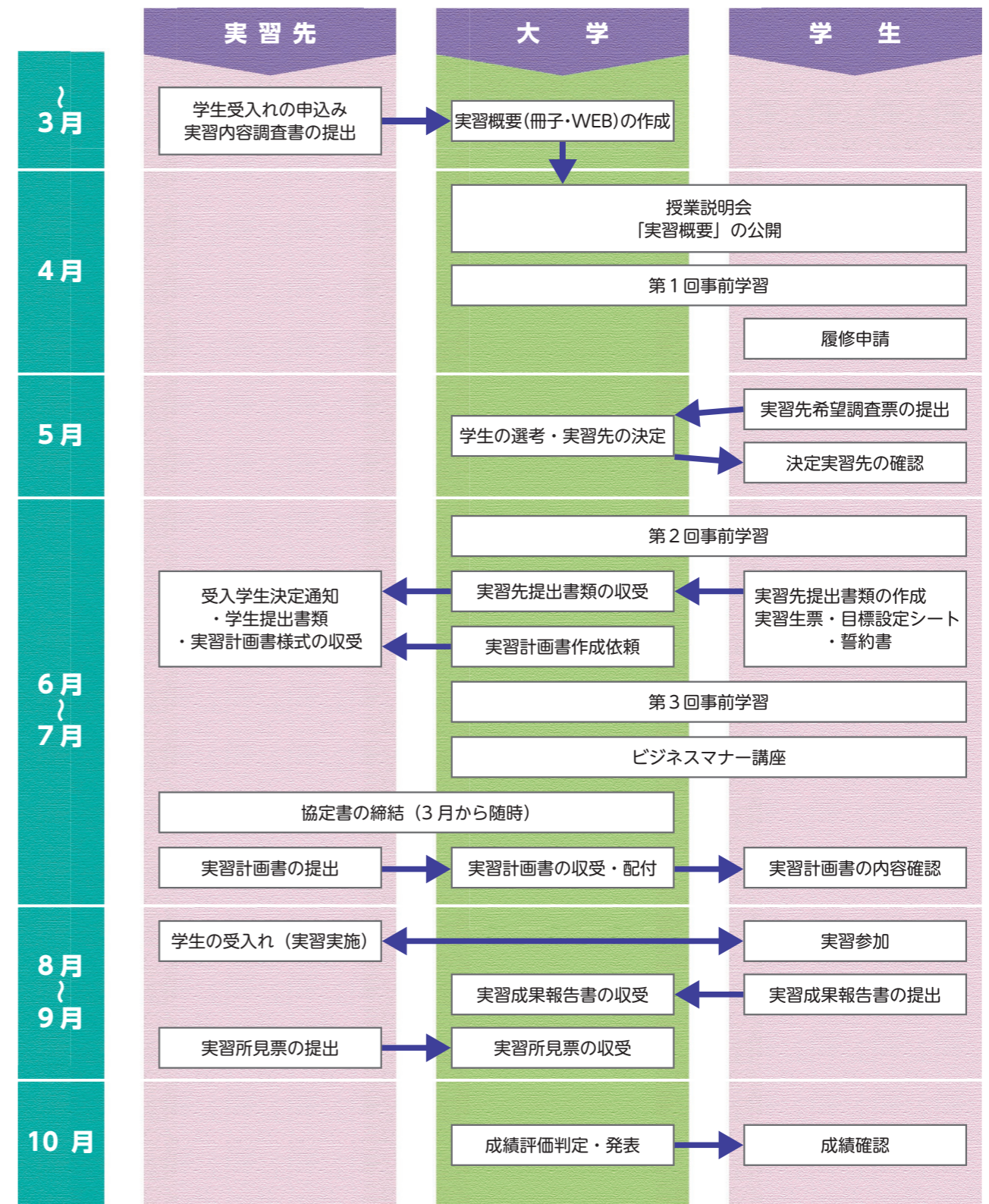
※学生が定員に満たない、または0名となる場合もあります。

※4月以降の受入人数枠の縮小・受入れのお取り止めは本授業の運営に重大な支障が生じるおそれがございますため、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

## 4 現場体験型しごとと研究（実習）実施フロー

当プログラムは以下のような流れで進行します。

なお、状況に応じて変更等が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



# 現場体験型しごとと研究 (実習) Q & A

## Q1 学生の募集条件の設定について

実習内容により、所属学部 [ 学科・コース ]、学年 [ 学部生のみ ]、専門分野等の指定は可能です。学生とのミスマッチを避けるため、実習内容調査書にてご指定くださいますようお願いいたします。

※当プログラムの履修学生は主に1・2年生となります。3年生のみをご指定の場合、当該年度の状況によっては派遣できない可能性がありますこと、あらかじめご了承ください。

## Q2 実習期間・日数・時間について

本学が指定する期間内にて**5～10日間 (40時間以上)**の実習期間、日数を設定していただきます。指定期間内であれば、連続する5～10日間でなくても可能です。詳細は、P.9「**1**学生の受入れについて」をご確認ください。

## Q3 学生の交通費・食事代について

実習にかかる交通費、食事代等の費用は全て学生の自己負担となります。ただし、不支給措置により事務手続きが煩雑になるなどの支障が生じる場合には、本学担当までご相談ください。

## Q4 昼食について

実習中の昼食は履修学生が各自で手配するのが原則ですが、受入先様をご用意いただける場合には学生にアレルギー確認をいたします。事前に本学担当までご相談ください。

## Q5 実習の実施形態について

対面での実習が困難な場合につきましては、オンライン実習としていただくことも可能です。詳細は、本学担当までご確認ください。

## Q6 既存の就業体験への組入れについて

当プログラムの目的とP.9に記載の事項を満たすことができる場合には、受入先様で既に実施の就業体験プログラムに組み入れていただくことも可能です。ただし、就職活動を見据えた3年生以上の実習学生に比べて知識・経験が浅い学生がほとんどとなりますことをあらかじめご承知おきください。

## ■ 現場体験型しごとと研究 (実習) お問い合わせ先

東京都公立大学法人  
東京都立大学管理部 キャリア支援課  
現場体験型しごとと研究 (実習) 担当

〒192-0397

東京都八王子市南大沢 1-1 南大沢キャンパス 7号館 1階

電話：042-677-1342【直通】

E-mail：shigoto-kenkyu@jmj.tmu.ac.jp

URL：https://career.tmu.ac.jp



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

